

視察等報告（復命）書

三次市議会議長 様

報告者氏名 小田伸次

下記のとおり、視察が終了したので報告します。

視 察 委 員 会	会派 三輝 会
期 間	7年 10月 7日（火）～ 7年 10月 7日（火）
視 察 先	福山大学マリンバイオセンター・因島観光協会・因島商工会議所
視 察 用 務	水産資源の利活用・入込観光客増加の取組・ポルノグラフィティ聖地への取組
概要及び所見	<u>福山大学マリンバイオセンター</u> 研究施設として管理運営されたいるセンターでミニ水族館も併設されている。海洋生物の養殖技術の研究（オコゼ・アコウ・シロキス等）を行っている。大学の研究チームと中山間地での魚の養殖（行政財産の再利用）事業が実現できないものか、期間はかかるであろうが検討する価値はあると考える。本市の所有する行政財産の利活用によって特産化も狙えると思える。教授いわくまだだれも手を付けていないものへの挑戦が良いのではないかと、相談に応じるとの事でした。 <u>因島観光協会</u> これまでは、村上水軍や除虫菊そして八朔の里として海と山をもとに観光推進していた。そこへプロダクションよりポルノグラフィティのコンサートを因島で行いたいと話があり、前向きに取り組む方向で検討に入り、秘密厳守という条件の元会議を進めた結果。里帰りコンサートを含め、約50日間にわたる「ポルノグラフィティ 島ごとポルノ展」が開催された。島全体を絡め経済効果5億円、島内の宿泊はほぼ満席、観光グッズ販売も6倍（粗利率50%）であった。 <u>因島商工会議所</u> 日立造船撤退以降人口が減少していき4万人から現在2万人を割るところまで来ている。上記のコンサート開催を機に観光移住者が増加傾向にあるので、それに便乗した形で因島みらい会議を開催し今後の展開を検討中。 全国規模の芸能人がいてこそその取り組みと察する。

提供。お試し滞在施設と滞在型市民農園も整備し、13年間で223の利用で58人の移住者を得ている。中間管理住宅（最大12年間利用その後そこに定住も可）があり、空き家所有者と町が賃貸契約を結び固定資産税相当額を支払う。住宅改修から管理まで町が行う。家賃は1,7万～4,4万。R4年10月から（株）良品計画が住宅の空間設計を担当している。なんにしても、住宅所有者負担がなく利用者也財政負担が少ない施設としての空き家利用は今後の過疎地域の空き家対策事業として検討の価値はあると感じました。

黒瀬町

海を中心とした自然と新鮮なカツオが売りの町。サービス名称「くじらん」定時定路線と自由路線の運行方式を導入。電話とアプリで予約する。月・水・金が運行日。大人100円、小児・障がい者、介護者50円、未就学児無料の運賃携帯で利用を促進する。担当課以外の職員も動員して個人宅の集まりでも出向きアプリ利用の説明や事業の趣旨を町民に理解してもらう行動をとった。結果、1日の利用者平均13名。アプリ予約4割という状況であった。本市も地域により抱える状況が違っているので、地域の応じた公共交通システムの構築が必要である。

研修報告(復命)書

三次市議会議長 様

三輝会

報告者氏名 横 光 春 市



会派代表者



会計責任者



下記のとおり、研修が終了したので報告します。

研 修 会 派	三輝会 小田伸次、横光春市、弓掛元、藤井憲一郎、國重清隆、細美克浩
期 間	令和7年10月7日(火) 9:30~12:10
視 察 先	福山大学 生命工学部 海洋生物科学科(住所地=尾道市因島大島町)
視 察 用 務	①魚類養殖にかかる研究・学校廃校後の活用(魚類の養殖の可能性を)
視 察 対 応 者	福山大学 生命工学部 海洋生物科学科 教授 XXXXXXXXXX
期 間	令和7年10月7日(火) 13:10~14:10
視 察 先	尾道市 因島観光協会
視 察 用 務	②ポルノグラフィティのコンサートとその後の影響について
視 察 対 応 者	一般社団法人 因島観光協会 専務理事 XXXXXXXXXX 因島商工会議所会頭他職員

【研修内容と所感】

【①魚類養殖にかかる研究・学校廃校後の活用(魚類の養殖の可能性を)】

・ 福山大学内海生物資源研究所で太田健吾教授から現在研究している魚類の状況の説明を受ける。

オニオコゼ、キジハタ

・ 研究は、「好き」「興味」「目標」に合わせて専門性を極める4つのコースで進める。

①資源利用育成コース.....水産資源の持続的な利用を目指す。

②フィールド生態環境コース.....海洋生物と環境を調べ保全する。

③アクアリウム科学コース.....海洋生物の飼育と展示を考える。

④水産食品科学コース.....水産食品ノ安全と利活用を考える。

・ マリンバイオセンター水族館ノ視察も行う。

【②ポルノグラフィティのコンサートとその後の影響について】

・ ポルノグラフィティのコンサート開催要望から開催に至る経過等について説明を受ける。

・ コンサートは因島市の開催では利益がでないために、横浜会場と一体的に開催することによ

り利潤を確保する方向で、ポルノグラフィティ側主催となり、行政の負担は数百万円で開催することができた。

(チケット販売、会場の警備等すべてポルノグラフィティのイベント会社が行った。)

- ・ 同上開催により、ポルノグラフィティのファンが因島市へ移住という現象もあった。
- ・ ポルノグラフィティの聖地を巡るイベントや観光客の増加もある。

等の研修を受ける(意見交換の中から)

因島商工会議所では、商店街の活性化や移住定住の促進などの事例を聴かせていただき意見交換を行った。

【所感】

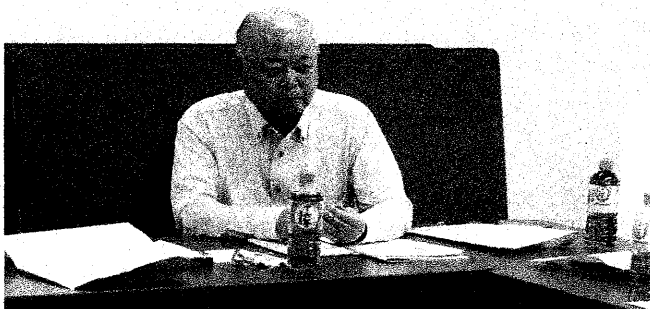
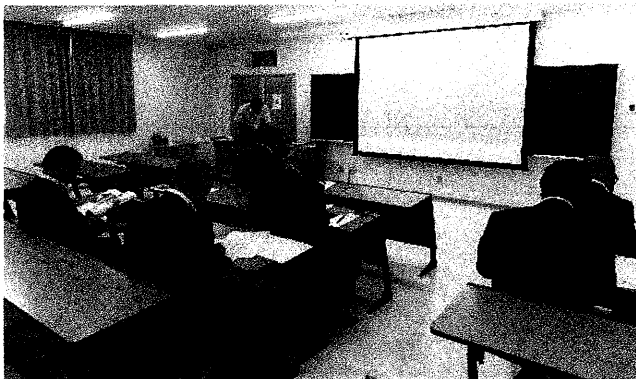
・ 三次市内の廃校を活用、或いは、陸地での養殖の道を探るため福山大学にお願いして研修を受けたが、研究者(人財)を求めて行うとなると、相当の覚悟(経費・年数等)を持たなくては実行に移すことは出来ないを考える。

因島観光協会ではポルノグラフィティ公演開催にあつては、観光協会が主体ではなく、ポルノグラフィティ側主催出会ったため開催できたと考えるが、観光協会の下支えというか地域への取組は参考となった、。

また、因島商工会議所意見交換では、商店街の活性化や移住定住の促進の意見交換は参考となった。

今回の研修はこれからの議員活動に活かさなければならない。

【研修中の写真】



陳情・研修等報告（復命）書

三次市議会議長 様

報告者氏名

弓 掛 元

下記のとおり、陳情・研修が終了したので報告します。

	会派代表者	小田伸次	経理責任者	藤井憲一郎
視 察 議 員	弓掛 元			
期 間	令和7年10月7日（火）			
陳情・研修先	尾道市因島 福山大学マリンバイオセンター 因島観光協会 因島商工会議所			
陳情・研修要務	魚類養殖 島ごとぼるの展 移住定住等の研修			
研修講師	福山大学 ■■■■■ 因島観光協会 ■■■■■ 商工会議所 ■■■■■ ■■■■■ほか			
概要及び所見	福山大学マリンバイオセンターでは、魚の養殖について学んだ。主目的は、本市において淡水魚ほか養殖が出来ないか、可能性を調査するものであった。結論から言うとかかなりハードルが高いものでサーモンなど人気の高い魚種は既に他地区で実践しているからだ。二手先を読んで取り組むべきとのアドバイスを頂いた。養殖に関する知識をかなりレクチャーして頂き大変勉強になった。 因島観光協会においては、昨年行われた人気バンドポルノグラフィティのコンサートとのコラボレーションで大成功に終わった島ごとぼるの展での町興しについて学んだ。採算、イベント会社との調整、地元企業への協力依頼など様々の裏話を聞いた。今後の本市でのイベント開催などで大変参考になり活かして行きたい。 因島商工会議所では、商店街の活性化・移住定住の促進などの事例を聞かせて頂いた。ポルノグラフィティ効果で移住者もかなり来てはいるが少子の問題は非常に厳しい状況でお互いの意見交換を行い参考になった。工場、介護施設を中心に外国人もかなりきているがトラブルはないとのことだった。本市での今後の移住定住の参考にしたい。			

視察報告(復命)書

三次市議会議長 様

報告者 藤井憲一郎

下記の通り、視察研修が終了したので報告します。

記

視察議員 会派三輝会 7名(小田 横光 弓掛 月橋 國重 細美 藤井)

期間 令和7年10月7日(火)

視察先 ①福山大学マリンバイオセンター
②因島観光協会
③因島商工会議所

視察用務 ①「水産資源の利活用」について
②ポルノグラフィティを活用した町おこしについて
③移住定住への取り組みについて

視察先対応者 ①福山大学生命工学部海洋生物学科 [REDACTED]
②因島観光協会 [REDACTED]
③因島商工会議所 [REDACTED]会長・[REDACTED]専務理事・[REDACTED]事務局長 他

概要及び所見 ①三次市の新たな産業として、廃校舎を利活用した内陸部で海産物の養殖が可能であるのか検証しようというのが初期の目的であった。
結論から言うと、現実はかなり難しいとの事であった。理由として、既に人気魚種は市場に出回っており「二番煎じ」となる事が挙げられる。
このセンターでは「キジハタ」や「シロギス」などの高級魚や人気魚に絞り、民間事業者と販路拡大などを図っていた。
次に何がヒットするかを考えなければならないとの事であったが、私は「清流カワニナ」を考案する。
中山間地向けの研究として「魚の死骸」を肥料にした野菜の成長研究もされていた。

②「ポルノグラフィティ」は因島出身の全国的な人気バンドである。目当に島を訪れるファンも多いであろうとの考えから、インフルエンサーを活用した町おこしの取り組みを伺いたく訪問した。
因島は「村上水軍」をメインに観光を推進してきた。ポルノグラフィティ

ィーには、島でのコンサートの開催などを何年も前からオファーしてきたが、所属事務所からは商業ベース的に採算が取れないとの理由で断られ続けていた。

そんな中、2024年にデビュー25周年を記念し里帰りコンサートを行いたい旨が所属事務所より届く。観光協会を中心に50日間にわたる「島ごとポルノ展」を開催。経済効果は約5億、グッズ販売も大幅に増え潤ったとの事であった。版權の問題など、課題も何えた。

三次市にもプロ野球ゴールデンルーキー「宗山壘」選手が誕生し、地元三良坂町を訪れる人も増えている。今後の可能性を見出す良い視察となった。

③因島商工会議所においては、観光協会と同様にインフルエンサーを活用した地域振興や移住定住について、関連性を持って訪問した。

説明員の方も、ポルノグラフィティファンが高じて移住し、その後商工会議所に就職した経緯を持たれていた。

因島の特徴としては、造船業に偏った「製造業」が主たる産業となっている。人口減少によって商店街も店舗数が減少しているとの事であった。

我々から見ると、海があり街並みも魅力的で、やりようがあるのではなかと感じた。

住んでみると、足元が見えなくなるのかもしれない。

視察等報告（復命）書

三次市議会議員 様

報告者氏名

月橋寿文

下記のとおり、視察が終了したので報告します。

視 察 議 員	三輝会7名 小田・横光・弓掛・藤井・月橋・細美・國重
期 間	令和7年10月7日（火）～ 令和7年10月8日（水）
視 察 先	1 福山大学 生命工学部 海洋生物科学科 沿岸資源培養学研究室 2 一般社団法人因島観光協会 3 因島商工会議所
視 察 用 務	大学や観光協会等の取組を研究研修し、三次市政に活かす
視察先対応者	概要及び所見に記載
概要及び所見	1 福山大学 生命工学部 海洋生物科学科 沿岸資源培養学研究室 [REDACTED] 前職 国立研究開発法人 水産研究・教育機構 水産技術研究所 養殖部門 生産技術部 副部長 魚類養殖にかかる研究紹介 水産養殖は、日本とノルウェーがトップ マリンバイオセンター水族館 学生主体の水族館 150 トンの大水槽 シロギスの完全養殖 2015 年養殖技術開発の着手 株式会社クラハシと協力 「びんごの姫」 商標登録 数年後に 10 万尾単位での生産・出荷が見込まれる オニオコゼ ウロコが無い 捨てる場所が無い 肝 胃袋 皮 お刺身 唐揚げ お吸い物 キジハタ（あこう） 養殖→稚魚→個人財産、人が管理、安定生産、漁業の農業化 シロギス 高成長 増殖→稚魚→無主物を放流、天然資源と一緒に管理、持続的な生産、積極的な資源管理

オニオコゼ・キジハタ 成長が遅い

オニオコゼを放流する時に背中のトゲを抜く 背鰭第4と第5棘を抜去
それによって、いつ放流されてのか分かる

栽培漁業 減耗が激しい卵から稚魚の間を守る 包括的な資源管理

オニオコゼ 50匹から6万個の卵を確保し6cmまで稚魚を育てる

令和3年度 全長60mm 5,000尾 放流

2 一般社団法人因島観光協会 専務理事

ポルノグラフィティのコンサートが開催されるまで

2023年7月20日 地元プロダクションより因島でコンサートを行いたい

2024年3月 因島会場コンサートの発表

2024年7月20日～9月8日 50日間 「ポルノグラフィティ島ごとポ
ルノ展」

会場：因島運動公園サッカー場

輸送：バス120台

経済効果：5億円

宿泊：期間中ほぼ満室

因島観光協会グッズ売上：昨年6倍 200万→1,200万 社員のボーナ
スUP

はっさくん（ゆるキャラ）県で1位になったこともある

3 因島商工会議所

会頭（因の島ガス株式会社代表取締役）

専務理事 事務局長 調査振興課長 経営指導員

因島 島内19,000人 外国人1,450人

高齢化率45.3% 若者の減少

出生数 令和5年 44人

会員数 892社 土生商店街の人口が3分の1 商店数が9割減

尾道市が、令和5年から移住コンシェルジュ 体験も

【まとめ】

廃校になった小中学校などのプールを活用しての養殖は、考えていく必要があると意識しているが、現実的に、魚種を何にするのか、綺麗な水の確保、誰がやるのかのハードルは大きすぎる。

地元出身の有名人に、全乗っかりすることで、島全体が聖地化している。三次出身のスポーツ選手や有名人に協力してもらい、市を盛り上げるイベントや企画が必要ではないかを感じる。

因島商工会議所の抱える問題も三次商工会議所と類似したものが多いただ、因島では、移住して起業される方が多いので、そこは非常に参考になった。三次市の移住政策や対応は、弱いと感じる。

視察等報告（復命）書

三次市議会議長 様

報告者氏名 國重 清隆

下記のとおり、視察が終了したので報告します。

	会派代表者		経理責任者	
視 察 議 員	小田会長、横光副会長、藤井、弓掛、月橋、細見、國重（7名）			
期 間	令和7年10月7日（火）			
視 察 先	尾道市因島町 ①福山大学 生命工学部海洋生物科学科 ②因島観光協会 ③因島商工会議所			
視 察 用 務	①魚類養殖にかかる研究紹介 ②地域のイベントについて ③因島商工会議所問題点			
視察先対応者	①福山大学生 生命工学部海洋生物科学科 [REDACTED] ②因島観光協会 [REDACTED]専務理事 ③因島商工会議所 [REDACTED]会長 [REDACTED]専務理事 [REDACTED]事務局長 [REDACTED]指導員 [REDACTED]事務局			
概要及び所見	①魚類養殖にかかる研究紹介 オニオコゼ、キジハタ（ブランド名びんごの姫）、シロギス 三次で養殖できる魚の研究。 休校の学校のプールを活用して、例えばイセエビ（サーモン）を 養殖し官民連携で発売する。 ②因島観光協会 島全体のイベントを開催する。元気な因島を目指す。 ③因島商工会議所 問題点・人口減少、地区の大手企業とうまくいかない。 しかし、因島ははっさく、村上水軍があります色々考えて行動されて います。			

視察等報告（復命）書

三次市議会議長 様

報告者氏名 細 美 克 浩

下記のとおり、視察が終了したので報告します。

	会派代表者	小田伸次	経理責任者	藤井憲一郎
視 察 議 員	三輝会全議員7名			
期 間	令和7年10月7日（火）			
視 察 先	別紙の記載			
視 察 用 務	別紙に記載			
視察先対応者	別紙に記載			
概要及び所見	別紙の記載			

復命

調査・研修報告 三輝会 細美克浩

日時:令和7年10月7日(火)

調査項目

- ①廃インフラを利活用した水産資源の利活用について(福山大学)
- ②因島観光への取り組みについて(尾道市因島土生町)
- ③ポルノグラフィティの聖地とした取り組みについて(尾道市因島土生町)

①廃インフラを利活用した水産資源の利活用について(福山大学)

調査研修目的

廃インフラの利用活用、淡水魚水族館について研修するため。

訪問日:令和7年10月7日(火)9:30~12:10

訪問先:尾道市因島大浜町452-10 福山大学マリンバイオセンター

対応者:生命工学部 海洋生物科学科 〇〇〇〇〇〇

説明内容:

魚類養殖に係る研究等について説明を受ける。

魚の残骸等が野菜苗生に利用できないか、化学肥料と比較しながら研究への説明を受ける。説明後、館内を視察する。

【まとめ】

- ・三川合流の本市において、ヤマメ・鮎をメインにした淡水魚を中心にした水族館を建設できないか調査していきたい。
- ・誰もが手を付けていない施策がないか調査していきたい。

②因島観光への取り組みについて

調査研修目的

PG(ポルノグラフィティ)コンサート実施に伴う観光協会の取り組みについて調査研修するため。
(観光協会事業への市からの助成等)

訪問日:令和7年10月7日(火)13:00~14:20

訪問先:尾道市因島土生町塩浜南区1899-31 因島観光協会

対応者:因島観光協会 〇〇〇〇専務理事

説明内容

昨年度実施されたPG(ポルノグラフィティ)コンサートについて説明を受ける。

また、因島観光協会のイベントについて説明を受ける。

東京・銀座の広島県のアンテナショップ「タウ」において因島物産館を実施。

【まとめ】

PG(ポルノグラフィティ)コンサートが地元プロダクションにより、市からの助成もなく実施されたことを踏まえ、本市でも本市出身によるこのようなコンサートができないか調査し、執行部に提案していきたい。

③ポルノグラフィティの聖地とした取り組みについて

調査研修目的

ポルノグラフィティの聖地とした取り組みについて調査研修するため。

訪問日:令和7年10月7日(火)14:55~16:10

訪問先:尾道市因島土生町1762-38 因島商工会議所

対応者:因島商工会議所 〇〇会頭 他4名

説明内容

田中専務理事より因島の現況について説明を受ける。

- ・人口の減少、若者の減少
- ・因島商工会議所の会員数(ここ11年まえより事業数は減、新規加入者は増)
- ・土生商店街における課題(人口がピークの3分の1、商店数が9割減)
- ・因島みらい会議の開催

【まとめ】

本市の商工会議所・広域商工会において、DMOと取り組みを共有しながら、因島みらい会議のように、地域の魅力を最大限に引き出すために多様なアプローチを模索されるように提案していきたい。